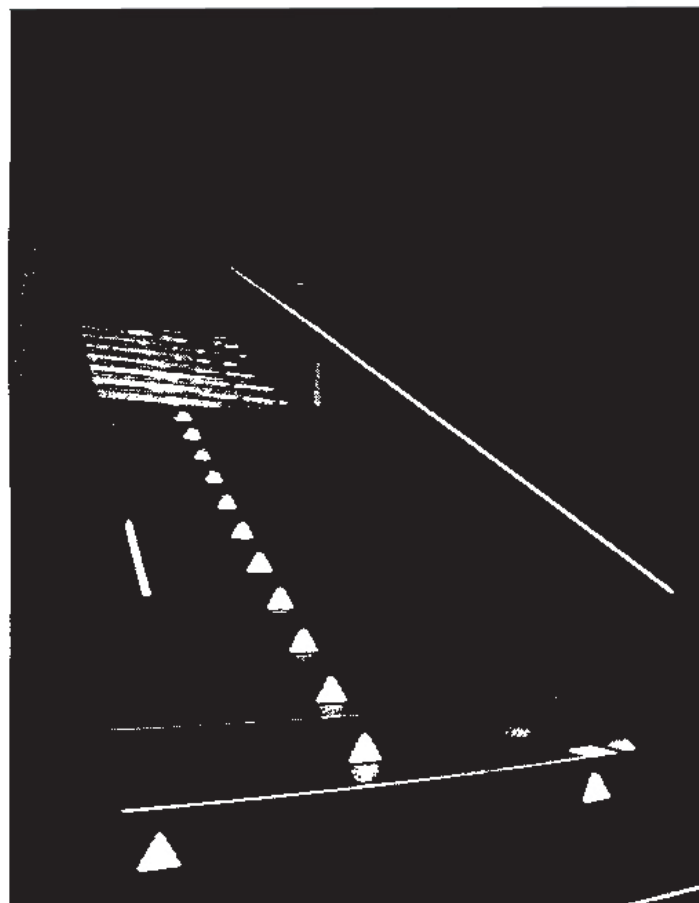


校舎屋上に登るために整備された、蓄光材を使った階段(8日夜、吉田町立住吉小学校で)



## 夜の津波避難に「蓄光材」を

### 避難路に設置 吉田で実証実験

夜間に津波が発生した場合に安全に避難できるよう、昼間に太陽光のエネルギーを蓄えて夜間に光る「蓄光材」の効果を実証しようとして、土木学会が8日夜、吉

田町立住吉小学校で住民参加型の避難実験を行った。

大地震発生の際、直後の停電により、夜間は暗闇の中を避難することになるが、同学会は対策として、電力が必要ない蓄光材を避難路などに使うよう行政などに推奨している。

会場の住吉小学校の4階建て校舎には、同町が今年2月、屋上に続く避難階段を設置し、足元と手すりに蓄光材を使った避難誘導表示を付けた。8日は地域住民約60人が参加し、避難階段に蓄光材がある場合と、隠した場合の避難の違いを体験。暗闇の中で青白く浮かび上がる光に、住民は「思ったよりも明るい」などと話して駆け上がった。同学

会は参加者へのアンケートを集計し、研究会などで報告していく。